

Special Exhibition

Various Stories from Artifacts of Scientific, Technological, & Natural History

—Thinking about the Significance of the Preservation of

Scientific Objects with Their Provenance—

残して伝える！

企画展

科学技術史

自然史資料が語る

多様なモノガタリ

Space and Earth Sciences

Physics and Chemistry

Natural History

2022年

8月5日(金) — 9月4日(日)

国立科学博物館 (東京・上野公園)

National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)

地球館2階 常設展示室内

開館時間: 午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで。

※会期中は毎日開館いたします。

入館料(税込): 一般・大学生630円(団体510円)

※常設展示入館料のみでご覧いただけます。※団体は20名以上。

※高校生以下および65歳以上は無料。

【主催】 国立科学博物館

【協力】 気象庁地磁気観測所、国立天文台野辺山宇宙電波観測所、多市郷土資料館、東京海洋大学附属図書館、東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設、東京農工大学科学博物館、北海道大学総合博物館

多様なモノガタリ
自然史資料が語る
科学技術史・

残して伝える！

科学・技術・産業にまつわる近現代の資料は、古代の資料に比べると保存の意義が低く思われがちですが、資料が残されていなければ、社会に影響を与えた科学・技術の歴史が後世に正しく伝わりません。科学や技術の足跡を示す多種多様な資料を残し伝えてゆくために、国立科学博物館では、資料の保存状況を調査し、戦略的な保存に向けた課題を考えるための研究を推進してきました。本展では、調査の過程で見えてきた資料の保存プロセスや、面白い知見を紹介します。

資料が保存されるまで

Physics and Chemistry

物理・化学系



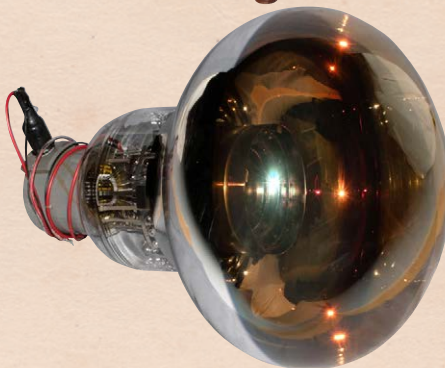
日本の最初期の鉄道に使われたレール
(英国 Darlington Iron社製、1870年)

新橋～横浜間(1872年開業)および大阪～神戸間(1874年開業)で使用するために輸入された鍊鉄製60ポンド双頭レール。炭素成分が少ないことなどから、鋼鉄製のレールが作られる以前の鍊鉄製であることがわかる。



地電気自記器

日本初の電気工学者である志田林三郎が考案した、海底電線に流れる地電流を測定する電気計器で、我が国における電気工学の黎明期の実情を示す数少ない現存資料の一つ。



ノーベル賞の証拠を残す！

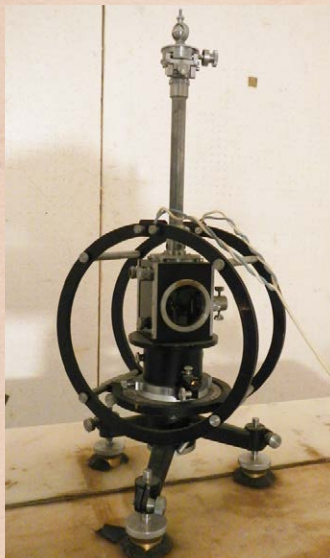
カミオカンデで使用された
光電子増倍管(初期型)

岐阜県の神岡鉱山の地下につくられた巨大な実験装置「カミオカンデ」で使用されたもの。超新星爆発にともなうニュートリノを1987年に初めて観測し、実験終了後も別の装置「カムランド」で再利用された。

科学・技術の歩みを残す

宇宙・地球科学系

Space and Earth Sciences



30cmカセグレン
アンテナ

世界一小さな日本で最初のミリ波電波望遠鏡。このアンテナのデータを元に直径6m(1970年、三鷹)、45m(1982年、野辺山)の望遠鏡が建設され、日本の宇宙電波観測が本格的にスタートした。

(所蔵:国立天文台野辺山宇宙電波観測所)



吊り磁石式変化計

1980年代まで日本の地磁気観測を支えてきた測定器。「磁石は北を指す」という性質を利用し、地磁気の変化を測定する。

(所蔵:気象庁地磁気観測所)

資料は語る 多様な知見と系譜

自然史系

Natural History

現存する国内最古の
マリモ標本

1894(明治27)年10月に阿寒湖で郡山甚四郎によって採集されたマリモの押し葉標本。札幌農学校の教授だった宮部金吾が遺したコレクションの中に保存されていた。

(所蔵:北海道大学総合博物館)



明治時代の絵師立花宇一の
描いたハタハタ

明治時代の画工だった立花宇一は「北海道水族写生図」を描いた。魚体のレイアウトや緻密さは現在の図鑑のスタイルに通じるものがあり、過去と現在の水産学や魚類学をつなぐ貴重な資料の一つ。

こうして資料は伝えられてきた、
そして今後はどう残す？

※所蔵が表記されていない資料は、国立科学博物館の所蔵品です。



アクセス

- JR「上野駅」公園口から徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線
「上野駅」7番出口から徒歩10分
- 京成電鉄「京成上野駅」正面口から徒歩10分
※当館には駐車場および駐輪場はございません。

お問い合わせ

国立科学博物館ホームページ

<https://www.kahaku.go.jp/>

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

FAX 03-5814-9898



※入館方法の詳細等については、
当館ホームページをご覧ください。